

新生涯学習施設(仮称)についての意見(その他の団体等)

1 新しい施設に盛り込むべき部屋等の機能は、何を盛り込むべきだと考えますか。

伝統的な青梅大祭を未来に継承、保存していくため、各地にも存在するお祭り会館的な要素を取り込んでいただきたい。館内に山車を置いて飾れるスペースや、大祭以外でも観られるように5体の山車人形を管理、保存、見学できるスペース、各町の太鼓やお面、衣装などを見たり体験できるスペースや部屋などを盛り込めると良いと思う。

青梅市指定有形民俗文化財：山車人形の展示や山車やお面他を展示できるスペース。定期にお囃子が実演を行え、観光客等が見てみたいと思えるような賑わえるようなスペース。プラネタリウム・舞台裏を見学出来るようなアプローチ。

コンサートやフォーラムの機能も大切だが、日ごろ人が行き来できると良いと思う。子育てを考えると和室、キッズルームなどで、乳幼児が集まれる程度のスペースがあるとよいと思う。高齢者にとっても同様だが、宿泊できる部屋とか。

お祭り会館を作りその中に山車人形、山車、お祭りに関わる備品などを展示してほしい。また、お祭り発表会などが出来る小ホールを作してほしい。

お囃子の練習や軽音楽等も出来る防音設備のある部屋、宿泊出来る部屋（風呂・シャワー・トイレ・ベッド・調理場完備）、よりたくさんの方がお祭り（特に競り合い）を見物出来るスペース。

青梅は青梅大祭があるのでお祭り会館を作っていただきたい。その中に山車人形玉体が展示できる所を作っていただきたい。

お祭り会館を作り山車人形や山車を展示、保管保存出来る施設またお祭りの備品を展示したり備品を使って体験できるスペースやお祭り発表会などが出来るホールを作してほしい。

人が集まりやすい会館にしてほしい。お祭り（青梅大祭など）を宣伝できるような所。

バンド、囃子等の鳴り物が平気でたたける防音の部屋、ホール。会議等利用しやすいホール、会議室。

青梅大祭に関する施設を。

地元のお祭り等をPRできる会館。お囃子の披露、音楽のイベント等が発表できる機能があればよいと思う。

小規模の会議室や和室

人が集まる、人が来たいと思う施設。コンサートなどできるミニホール等。祭りに関する施設。

今までと同様のホール、発表会・コンサート等人が集まる施設。

青梅大祭に参加している各町の山車をかざるスペース、山車人形をかざるスペース＝お祭り会館

祭が盛んな青梅にぜひ「お祭り会館」を。

お祭り会館または青梅大祭を飾れる物。お祭りにゆかりがあるもの。

地域に根付いたお祭り等の資料館

バリアフリーはもちろんエレベーターが大きくなると良い。カフェや休憩できる場所（青梅の名産品をおく）。

祭の資料等の会館

青梅大祭の歴史のわかる施設

お祭りの事がわかる部屋とかあると良いと思う。

お祭りに関する展示ブース

住吉神社青梅大祭の山車人形の展示などを行い観光事業の根拠とする。

これぞ青梅！というべきもの＝青梅大祭に関するもの山車、山車人形等をかざれるスペース
多目的ホール、防音室
防音措置等の部屋が必要
囃子の練習（その他）音が出るもの
古典芸能の発表の場、練習できる場
多目的練習場
郷土芸能の練習、発表の場
青梅の歴史、文化を見学できる施設が必要だと思う。祭りのための山車、人形が展示できれば最高だと思う。
防音・バリアフリー・和室
防音・バリアフリー
<p>完全防音対応の（大音量対応と、各室への音漏れ・振動がないこと）5室以上の音楽練習室設置。音楽練習室は密閉状態なので空調設備の設置。楽器・機材搬入に際して、エレベータ、台車等の設置。各音楽室は、100㎡以上の面積を有する。各音楽練習室は、通常電源コンセント2口を8か所以上設置。各音楽練習室は、椅子10脚、長テーブル2脚設置（折り畳み式）。各室間、搬入路等、台車等の移動が出来るよう階段、段差等の無いスロープにしバリアフリーも兼ねる。</p> <p>土足での入室可能とする。音楽練習室内に、休憩時の飲食可能なエリアを設置。各音楽練習室でも、100席程度のライブが可能とする。施設内に食事・喫茶等の休憩施設を併設。施設利用者専用の立体駐車場100台以上併設（施設利用者は無料化、IDカード等掲示で自動運転）。</p> <p>各音楽練習室は、楽器・アンプ等の備品設置は不要（自前で持参する）。トイレは洋式とし、ウォシュレット設置。各室内壁面は、白とし、プロジェクター等の映像投影が可能とする。施設予約システムは、仮予約登録後、使用料の払い込みにより、1クリックで利用証が出るプログラムとし、施設管理者の端末操作時間・利用者の申請待ち時間を無くす。施設予約システムは、音楽練習室、会議室、小ホール、料理室・・・のように使用目的別に空き状況、予約が、ダイレクトに出来るものとする。各室の時間・利用料が予約時に判るようにする。ユニバーサルデザインを採用する。当然耐震・免震設計とする。利用料は、登録団体であれば半日/1,000円程度とする。音楽練習室は、登録団体以外は予約不可とする（予約が集中しすぎる）。</p> <p>施設全体はスプリンクラーの設置をする。施設内に折り畳み椅子・テーブルの保管庫（それぞれ100脚程度）設置。なお、本要望内容と、それに対する回答は、青梅市ホームページ等にて開示できるか。</p>
音楽室は防音対応であること。また、天井が高く木材を中心とした構造であることが望ましい。楽器の出入りがある部屋は大きめで段差のない作りが望ましい。
楽器倉庫（鍵付き、最低限現行の広さを確保）、譜面倉庫（鍵付き）
入退室認証によるセキュリティ強化（楽器倉庫、譜面倉庫）
録音・再生機材などの視聴覚施設
子供が遊べるスペース（キッズスペース）
給湯室
大型機材の搬出入が可能な広さのエレベータの設置
駐車場
利用設備ごとに温度調整が可能な空調設備
コピー機

Wi-Fi対応
ソファのあるロビーの設置
小ホールについては、客席を電動可動式とするなど、柔軟な構造とすること。また、音響設備、照明設備を備えること。
「人と人の出会いと交流をサポートするまちの情報発信拠点」の機能を持つ施設にしてはどうか <ul style="list-style-type: none"> ・文化交流推進機能：市民が文化交流できる機能（オープンスペース、小ホール、多目的室、防音室） ・地域産業機能：地域の資源を提供する（市場、レストラン） ・市民活動推進機能：市民活動に必要な環境の提供、情報の収集・発信、相談業務、協働の推進 ・行政機能：行政として必要な機能
集会室について <ul style="list-style-type: none"> ・あるていどの防音と天井の高さをもち、会議のほかいろいろな活動が実施できるものとする。 ・バンドや太鼓・囃子の練習のできる防音の強い部屋も必要。 ・天井に照明がつれるバトンを配置。読み聞かせ・紙芝居・ワークショップなどのパフォーマンスに利用出来る。 ・鏡があるとダンスなどには利用価値が大きく出てくる。
小ホールについて <ul style="list-style-type: none"> ・集会室が文化アート活動に使えるならば、小ホール（200人程度）は、椅子の固定式タイプが使い勝手が良い。 ・スロープがあり見やすい座席をつくること ・舞台の広さは、間口だけにとらわれず、奥行き袖の広さが必要で大切（ピアノや演台などが置いてあり、袖が使えない小ホールがある。また、講演会を対象としたものになりがちである） ・舞台の裏を上手下手へ移動出来る方が便利である。 ・楽屋は近くにあった方が便利である。 ・バトンは飛びきれる方が使いやすい。（つってある幕がそのまま上に折らずにあがる） ・幕類は黒色とする。 ・調光卓・音響卓は移動出来るものも用意する。固定卓は、1か所に集中させた方が良い。 ・照明 小ホールは、フロントやシーリングが設備不足になりがち。天井や後ろの席をうまく使って照明を使えるようにしておく。 ・座席が固定なら心配ないと考えるが、小ホールへの入り口が前方だけにならないようにする。 ・小ホールは、簡易座席をつかってきしみ音がでたりする場合がある。 ・障害者スペース、乳幼児対応スペースもあると良い。 ・照明・音響の基本設備にしっかりしたものを揃える。（コンサートやパフォーマンス・演劇で使う事を想定する） ・ロビーが大切。広さとくつろげるスペースやトイレを確保する。 ・ロビーで使える椅子やボードを準備する。壁も飾りものなどで使えるようにする。
外回りについて 集会室荷物や小ホールの搬入搬出スペースを確保する。一時的にでも車が寄せられて、雨があたらないところ、小ホールに関しては、舞台面と同じ高さに搬入口があると良い。特に駐車場の確保、自転車や二輪車の駐車スペースも大事である。
乳幼児をもつ親子のために、バギーが入ること、子どもと一緒にお茶をのみながらお話出来る場所
ティーンズのために、居場所的なフリースペース、図書館、学習スペース、プレイルーム
地域のアーティストの発表の場につながる展示・イベントが出来るスペース
生涯学習、市民活動団体支援、協働事業支援の場として、情報コーナー、相談コーナー、作業コーナー。
若者を取り込むためには、喫茶・BARなどの設置活用も必要。（夜間の閉館時間は午後10時30分とする）
小ホールについては、広さはゆとり小ホール程度。フロアはフラット。座席は300席。天井を高く（建物2階分）。せり上がり舞台。可動式反響版。舞台に証明設備。録音用吊りマイク。ピアノ収納庫。ホール前ロビー。
控室（楽屋）をステージ裏に配置。搬入口を上手か下手の最短位置。緞帳、暗転幕、袖幕、引割り幕、大黒幕、水平幕を設置。出演者用トイレ。給湯室。控室に鏡、水場の設置。音響システム。プロジェクター。綱元と操作盤は同じ袖に。

音響は1.3～1.6秒程度で可変式音響版の設置。座席数は300席。車椅子席や親子席。音楽専門のホール。地元産木材使用。

2 新しい施設ができた場合、利用する団体、地域においてどのような影響が出ると考えますか。

毎年十数万人が訪れる青梅大祭は、青梅市のいちばんの観光であり遠方から来て頂いたり、毎年楽しみにしている人達が大変多くいる青梅の一大イベントであると考えている。こういった昔からの伝統行事を絶やさず続けていくために、新しい施設を通して、自治会、お祭りの団体、商店や学校と様々な団体が一つになって青梅を活性化できるのではと考えている。

市内在住の方や観光客など、東京にはまだないお祭り会館があればJR青梅線の利用が増える。市内の子どもたちが地域の郷土芸能にもっと関心を持つ。観光産業が栄え、お土産など市内で買い物をしてもらえる。

活用しやすいとすると、300人くらいが良いと思う。小ホールがあってもと思う。活発な活動ができると思う。

お祭り会館を作れば、お祭り好きの団体や青梅の祭りを知らないほかの地域の方に青梅の祭りを知ってもらうことができ、青梅に人がくると思う。

お囃子の技術力アップ等

青梅大祭の団体はもちろん、青梅大祭を知らない地域の方も知ってもらえると思うので青梅の知名度が上がり観光客が増えると思う。

青梅の囃子会とか他の地域の囃子会などが囃子の発表会などを新しく作るホールで行えば知名度もあがり、人も増えると思う。

青梅を知ってもらい色々な地域の人が青梅に来てもらえると思う。

青梅のPRがしやすくなる。

自治会館以外に使えるのは強み。

地元商店街の活性化

お祭り会館の機能はレトロ青梅とあいまって観光客の集客。
音楽イベント等ができれば、青梅宿とのタイアップで青梅全体でのイベントが人集めになれば良いと思う。

青梅大祭の関係者が地域の祭りを盛り上げるために会議をする場となるように。

青梅大祭のPRおよび青梅市のPRをする施設とすることで、観光客の増加を図り、経済効果を生む。

商店街の活性化

観光客等の増加による近隣の商店街の活性化

観光客による経済効果

地域の活性化がみられる。

観光スポットの1つになり来訪者の増加

お祭り会館が出来ることで地域の子供、ご老人、外国人の来訪も多くなるのではないかと。
外国人にうけるみやげ物の開発も考えると来訪数増加となると思う。(山車人形の焼印クッキー、雪女せんべい・・・など)

集客効果があると思う。

色々な地域のお祭り好きが集まると思う。

地域の発展等につながると良いと思う。

利用が増える。

観光人口の流入による経済効果
観光客による街の活性化、商店の売り上げアップ
他の会や団体などとふれあえる。
付近の交通手段、駐車場の管理、交通事故防止等
古典芸能の後継者育成、向上
後継者育成、コミュニケーションがとれる。
技術向上
コミュニケーション
利用方法は話し合いを重ねれば、大きな影響は出ないと思う。
青梅大祭と言えば年間の中でも大きなイベント、各町内に飾られる昔からの人形は見事であると思う。最近では少子化が進んでいる中でこれからのためにも子どもたちのためにも、建物の中に太鼓、笛等の飾りスペース（あまり大きくなくてもよい）が出来れば良いと思う。祭日以外を利用して子ども会等でいつでも見学できる。
3 その他、新しい施設に対して、ご意見がありましたら自由をお願いします。
せっかく新しい施設を建設するので、青梅大祭関係の機能を持った部屋スペースはもちろん、今までの市民会館にはない要素を取り込んで頂き、市内・市外からも気軽に利用できる素晴らしい施設になれば良いと思う。
青梅市らしい誇りと愛着が感じられ、若者やお年寄りなどからも親しみやすく観光の拠点でもあり、町の賑わいに繋がる施設としていただきたい！
子ども家庭支援センター、地域包括支援センターなどを入れてもらえると良いと思う。児童相談所、スクールソーシャルワーカー、半屋外みたいなスペースとかあると、マルシェ活用出来たり、他の行事イベントをすることもできる。川越みたいに山車会館とか観光の拠点。行事、観光に使える要素があると更に良いと思う。
青梅を盛大に盛り上げたい！
お祭りが盛んな青梅なので、お祭り会館等あれば。
よそに負けないお祭り会館を。
人が集まれる場。集客のあるイベントをお願いしたい。
トイレを多めにつくる。
他の祭に負けないような「お祭り会館」のようなものを入れる。
お祭りが盛んな青梅。他の市町村に負けない祭、青梅大祭。是非青梅大祭をPRできる施設を。
さびれた青梅宿を元気な青梅宿へ。
多数の人が利用でき便利と思える施設に。
色々できる施設になるといいと思う。
ぜひ、お祭りの盛んな青梅に立派な施設を。
青梅大祭を観光の1つにした拠点整備。プラスαとして、サイクリングステーションも併設してはどうか。
マラソン、サイクリングが盛んになる道路、シャワーやロッカーのあるランナーズステーションなど。

市民に愛されるホール
地元に少ないため児童館が必要である。
市民の方が1人いれば利用可能、市民団体は安く。
青梅の由来でもある梅が、梅郷地区は全滅し観光の目玉は、青梅に足を向けられる方々に青梅の文化、歴史を見て頂くことが大切。
青梅市内の全ての団体を対象としたお祭り会館を希望
青梅市民にとって、使いやすい誇りに思える施設が良い。
会場の予約方法の明確化、社会人でも可能な予約方法の確立。
現状の施設使用状況を正確に把握し、団体間で奪い合いが起こらないよう部屋数を確保してほしい。
新施設の責任の明確化、担当部署をはっきりしてほしい。
新ホール完成後に旧ホールの閉鎖ができないか検討してほしい。
市民が気楽に行ってみようと思える施設が大切かと思う。これには、施設機能と管理者の問題があると思うが、管理者が利用者と一緒に施設や地域も盛り上げるという体制が必要で、市民参画の協働運営が夢を広げる事につながるのではと思う。管理運営に夢と情熱がなければ、つまらない箱物になってしまう。
対象者年齢をどうするか？基本は、乳幼児をもつ親子から子ども、青少年、大人、高齢者と幅広く関わられるのが良いと考える。とくに、大人から高齢者向きになりがちである。
文化アート活動が出来る施設としての位置づけも大切かと思う。